

○全国中学生空手道選手権大会における服装違反の運用について

選手が不適当な服装（規定に反する服装）で競技場に現れた場合、1分以内に服装を正すことができなければ、**棄権となります**のでご注意ください。

服装違反は競技規定上の棄権となります。

- ・団体戦の場合、相手に8ポイント（全中大会では6ポイント）が与えられる。
- ・組手、形、個人戦、団体戦の4つのカテゴリーは、それぞれの扱いとなるため、1つのカテゴリーで服装違反により棄権になっても規定に準じた服装に正せば他3つには出場できます。
- ・団体形の場合、一人でも服装違反があった場合はチームの棄権となる。
- ・団体組手の場合、1回戦を服装違反で棄権になった選手は、チームが勝ち上がって2回戦に進んでも出場できない。

○服装規定の変更について（訂正）

服装規定について、多くのご意見をいただき、中空連で検討した結果、**競技規定で定められていない道着の袖幅、裾幅の指定を削除**することといたしました。再度確認いただきますようお願い申し上げます。

全国中学生空手道選手権大会における競技者の服装について

公益財団法人全日本空手道連盟「空手道競技規定 第2条 競技者」のうち、下記を運用する。ただし、下線部を引いている箇所は、本連盟申し合わせ事項についてである。

- ストライプ、ふち飾りのない白の空手着を着用すること。上着の左胸に学校名（20cm×8cm程度）、左袖に都道府県名を記入する。色は黒色とするがスクールカラーの使用は認める。上記の他、氏名、ラベル以外の表示は認めない。ゼッケンは、大会実行委員会から事前に郵送されたものを競技開始までにしっかり背中に縫い付けること。帯の幅は約5cmとし、長さは結び目の両端から15cmほど残る長さとする。但し、大腿部の4分の3までの長さとする。【図解】①
- 帯でウエストを締めたときの上着の長さは、腰を覆うほどの長さとし、大腿の4分の3までとする。
【図解】②
女子の場合、空手着の下に白無地のTシャツを着用してもよい。
上着の紐は結ぶこと。紐なしの空手着は着用不可とする。
- 上着の袖の長さは手首までとし、前腕の中程より短くてはならない。【図解】③
~~上着の袖の空きは袖全長にわたり袖と腕との間(袖をつまんだ時の余り)が8~20cmでなければならない。【図解】④~~
上着の袖をまくってはいけない。
上着の紐は試合開始前に結んでおかなければならない。試合中にちぎれた場合でも、上着を替える必要はない。但し、翌日に試合がある場合は、縫い付ける、もしくは上着を替えること。
上着の胸部に紐は付けない。
- ズボンの長さは、少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、踝がかくれてはならない。
【図解】⑤
~~ズボンの空きはズボン全長にわたりズボンと脚(足)との間(ズボンをつまんだ時の余り)が8~20cmでなければならない。【図解】⑥~~
裾をまくりあげてはならない。

【图解】

